



エルヴィン・スミス

おれは
おれは
おれは
おれは
おれは

Attack on Titan
unofficial fanbook

Presented by natsuhibachi
3P
エル+
エル+
エル R18
Erwins + Levi



エルヴィン！
帰っているか

ああ
リヴァイか



—今日は
すまなかったな

いや仕方ねえ
急な呼び出しだろう

悪いが
一人で
飲んで来たぞ

てめえこそ
お疲れだったな

共に飲みに
出る予定が



しかしまだ
今晩中に
纏めておかないと
ならない書類がある

ああ…



団長様はよ...

...本当に
忙しい
ことだな

いよあ

.....



どうした
随分と
酔っているな?



.....
リヴァイ?



分かりやすく
酔っているじゃ
ないか...珍しい

大丈夫か?

...なんだ

茶を淹れて
くれるのか?



...いいんだ
俺なんぞ
気にせず

とつとつ
仕事を
続けやがれ...

ヒック

ゴゴゴ



—いいや
悪いが
これは違えんだ…

何でも
こりやあ
魔法のポット
らしいぜ

コイツを擦って
願い事を言うと
叶うんだとよ



何だと？

どこで
そんな
馬鹿げたモノを…

お前 騙され
たんだろう

金を取られては
いないか？

だから
一人では
出ていくなと—

見くびん
じゃねえ



一人
寂しく
飲んで

愚痴っていた
俺に
情けをかけて
くれたんだろうよ

見知らぬ男が
くれたんだ

捨てようとも
思ったが

何故か
どうにも
放っておけねえ

愚痴だと？
お前が？

ああ

団長様が忙しくて
相手してくれ
ねえからな

—何？

キュキュッ





...!!?!?!?!?

—やあ
リヴァイ

なっ…

なんだ…
リヴァイ…

それは…!?

…
オイオイ…

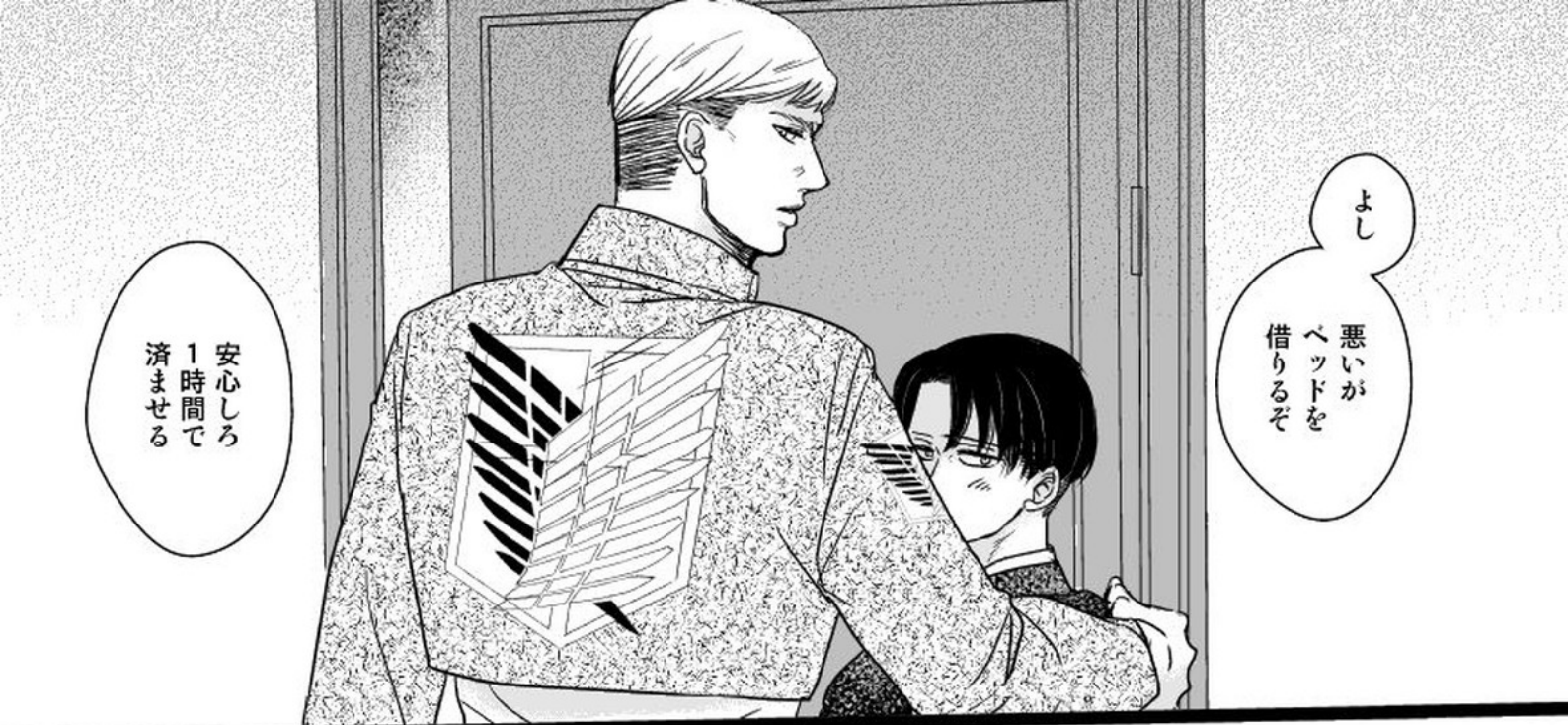
マジで
出やがったのか
エルヴァイン…

ふんふん

「お前」

お前は一体…

…



よし

悪いが
ベッドを
借りるぞ

安心しろ
1時間で
済ませる



バタッ

イヤイヤ...

.....



カッ

待て待て待て待て
リッヴァー—イ!!!

コン

あ...ッ



——
オイオイ……

これは一体

どういう
状況だ……

いきなり
てめえと
3Pかよ

俺にしてみりや
堪らねえが

良いのかよ
団長様が

イヤ
待て
リヴァイ

そもそも
お前の願いが

「私」……
だって……?

悪いが

何から何まで
話が見えん……

それで
この男と
……同衾を?





お前は
仕事を
片付けてこい

んちゅツ

オイ
リヴァアイ!

お前は...!!
こんな奴に
唇を許して...!!

こんな奴って
てめえだろが
エルヴァイン



俺がキスも恥じらう
純情可憐な
お嬢サマに
見えるのか?
それこそてめえが
酔ってんだらう

きゅん
きゅん

俺はてめえ相手に
勃起出来るし
マスだって掻く!

嬉しいよ
リヴァアイ



—それが
許せねえなら
...ツ

てめえはツ...

今すぐ
ここから
出て行ってくれ...!!

仕事
してこい!

イヤ待って待ってリヴァイ……！そもそも私が欲しいなら何故早くその言わ
イヤ欲しいとはどういう事だ？
好意を持っていてるという事とか？
私を想って張り型で……張り型！
あのリヴァイがそんな
ものを使って自分を
慰めているだろ！



私を想って？
しかも私と似た
別人で事を済ま
そうとして肝心の
私には仕事をして
こいだと？！だいたい出
行けと堂々と言われたが
ここは私のベッドだし私の
ベッドでリヴァイが他人とセックス

脱ぐのかよ



リヴァイ
では
君の相手は
私たち、だ





酔っていたと
言い訳するなよ……!

いア

お前こそ

…リヴァイ…



エ…

エルヴィン…

本当に
いいのかよ…
こんな…



ハハ
ハハ
ハハ

ああいいね

リヴァイ

私にキスされて
嬉しいかい?

んっ
んっ
んっ

ヒクっ
ヒクっ
ヒクっ







……ッ……

あぁっ！
入っ！

ん…やはり
狭いな…

ゆっくり
慣らすぞ

あはははは

ズル！



…っあ
っあぁっ

ぬぬ

てめえ…
やっぱでけえ…っ

リヴァイ…

…っ…
見るんじや…っ
ねえ…

ヒク
ヒク
ヒク

突かれたかっ…

クソでけえ
ちんほで

にちゅっ

この

ずっとお前に
こうして…

…っうあ
…見損
なったかよ…

あっ…ああああっ!!

クッ
クッ
クッ

おっと

あっ…!?

リヴァイ…!!



はっ…
締まるな…

そろそろ
動くぞ…

…っあ!
クソが…!
強すぎる…っ
すぐに
出ちま
うッ…!

あ…っ
てめ…



ハッ

ハアッ

あうッ

はアッ



私もお前だよ

リヴァイの求める
リヴァイだけの私だ

…ふっ
そんなに
睨むな

いい加減に
しろ

…お前ではない

……



でも
分からねえ…



—…そう
だ…と
思っていた…



それが
欲しかったんだろう

リヴァイ



！



……てめえに
そんな顔を
させたかった訳じゃ
ねえんだ！



そう——
思い込んでいた

側にいるだけで
もう私のものだ

——私は
お前が……



——悪いが

私が
貰おう



しかし
違ったな

ああ そうだ

だから
俺は
惚れたんだ

なんて顔
して
やがる…



ここか?

なに?
わから
ねえ

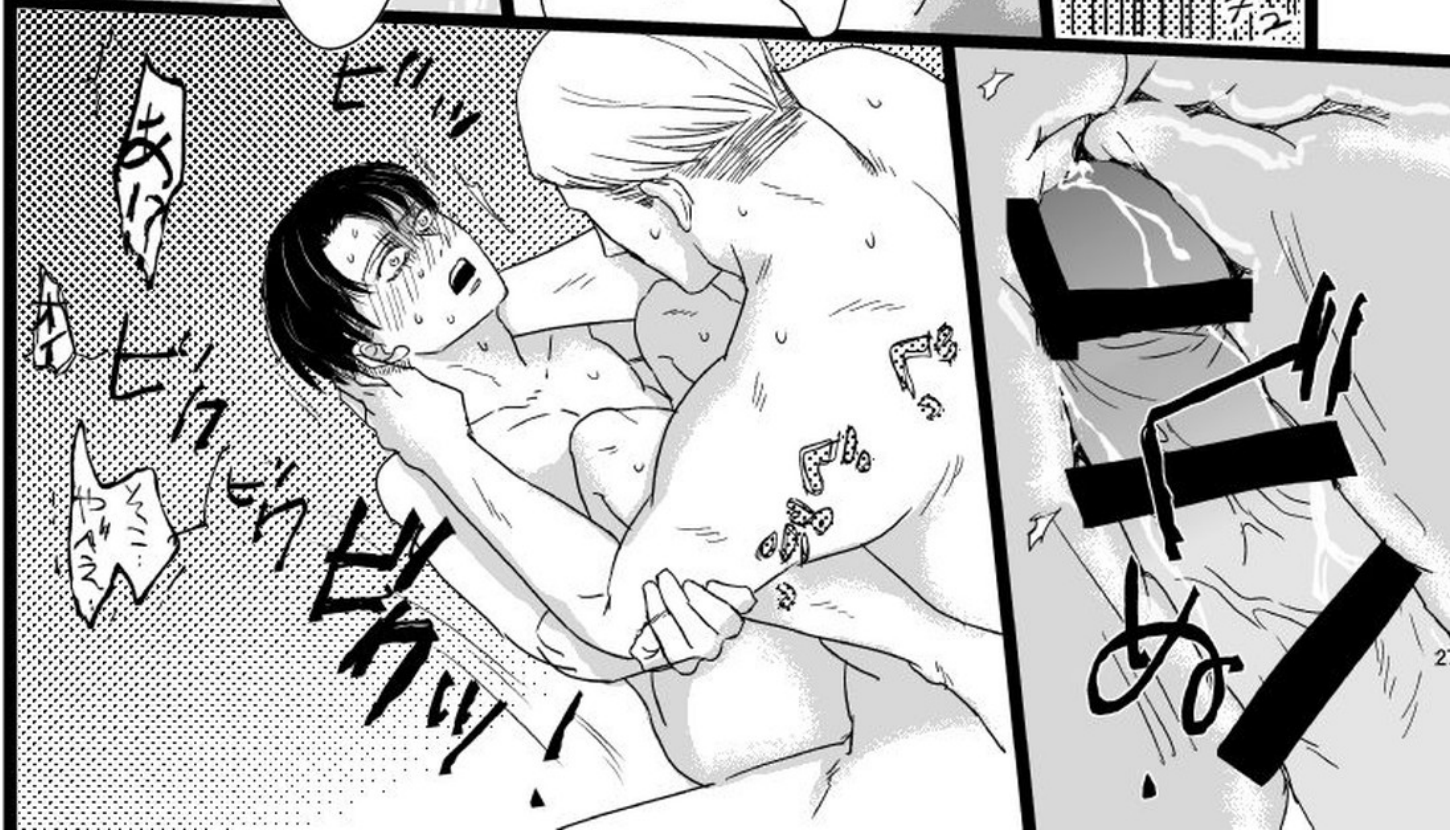
…リヴァイ

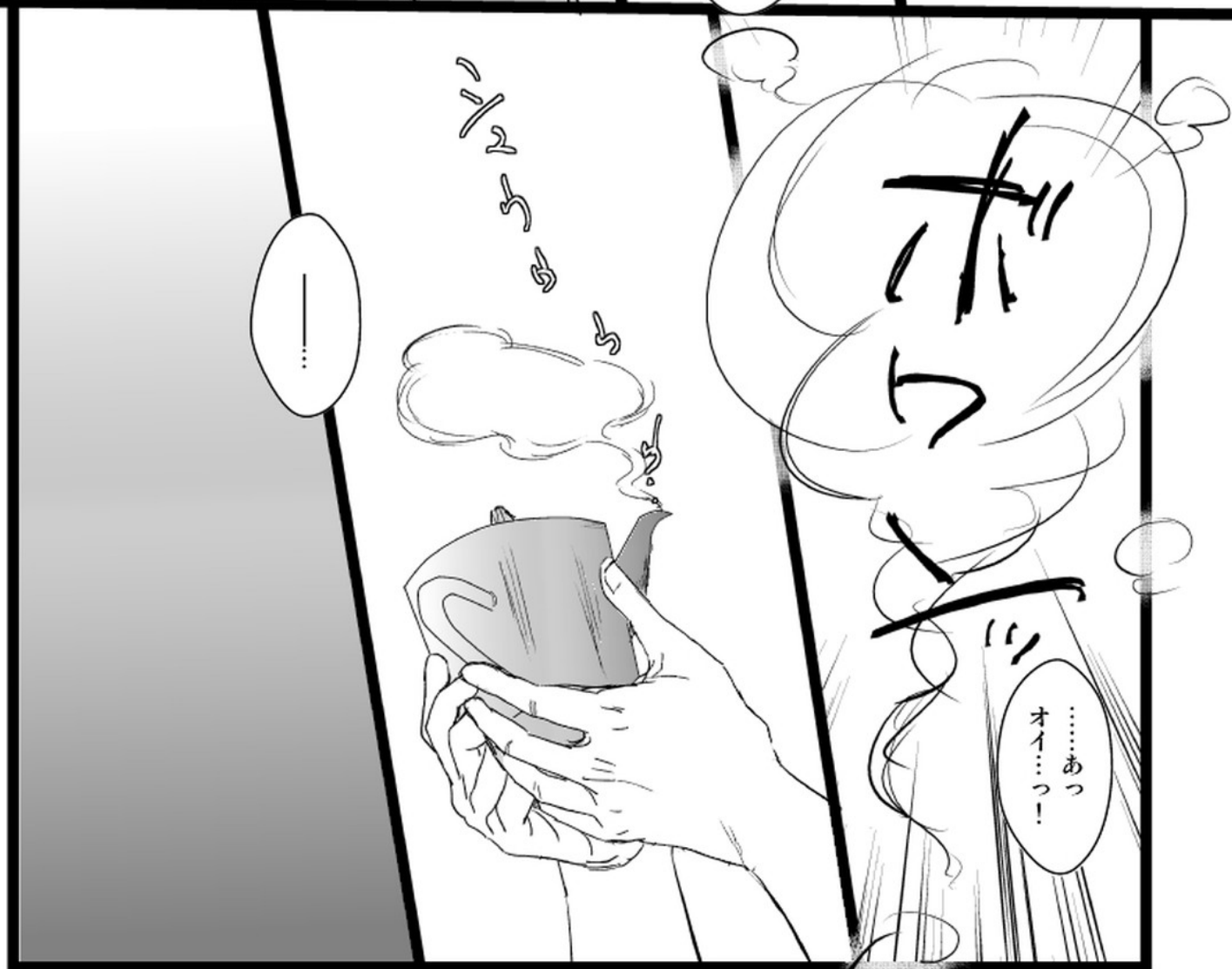
な…

えるび…

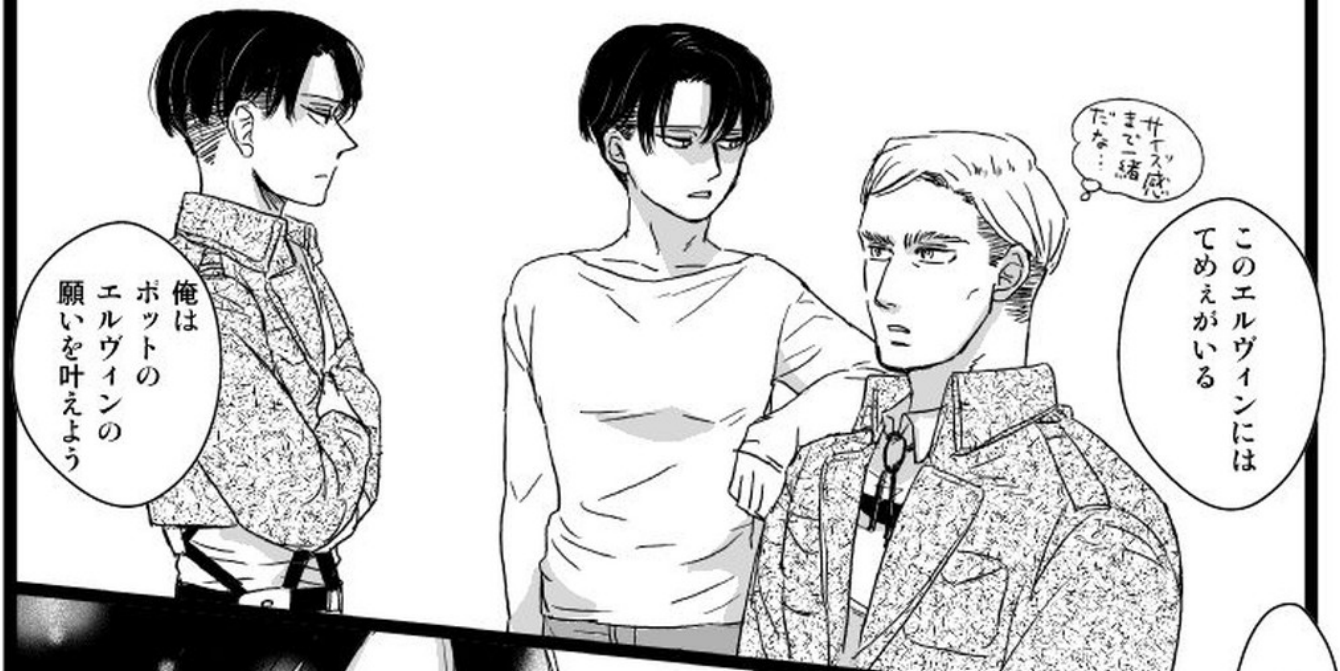
ああ…
リヴァイツ

リヴァイ…!









俺は
ポットの
エルヴィンの
願いを叶えよう

サッス感
まで二倍
たな

このエルヴィンには
てめえがいる



こいつの願いが
叶えられるな？

例え一人でも

お前は

！



もちろんだ

—ああ



—なんだよ

...

ふむ



ハッ

じゃあな

!!



ち...っ
ち 違う!

てめえ...まさか
さっきの俺とで
3P 出来るとでも
思ってたか?



俺が...好きだと

...妬ける程に



お前は
本当に...
— その...

—
そんなに
ポットの私を
気にかけて...

ハッ
!!



「
ニ
」
よく覚えとけ

…たりめーだ

あア？



俺は結構

しっしっぞぞ



堅物団長エルヴィンと自宅警備団長エルヴィンサンドでした！りばいとゴロゴロオ
最終的には1エルビンに1リバイ…(3Pとは)
ラストは113話(ネタバレ程ではないです)を読んだ気持ちも含めて。